

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申立書の写しは相手方に送付されますので、あらかじめご了承ください。

受付印	<input checked="" type="checkbox"/> 調停 家事 申立書 { 監護の分掌 }
	<input type="checkbox"/> 審判
(この欄に未成年者1人につき収入印紙1, 200円分を貼ってください。)	
収入印紙 円	印紙 (記入例) 共同親権下で、父が、母に対し、子の監護の分掌(期間)を求める申立て (貼った印紙に押印しないでください。)
予納郵便切手 円	

申立書を提出する裁判所

作成年月日

〇〇 家庭裁判所 御中	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	甲野太郎 (印)
令和 〇年 〇月 〇日		

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 未成年者の戸籍謄本(全部事項証明書) <input type="checkbox"/>	準口頭
------	---	-----

申立人	本籍(国籍)	都道府県
	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (方)
	フリガナ 氏名	コウノ タロウ 甲野太郎 昭和 平成 〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)
相手方	本籍(国籍)	都道府県
	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇アパート〇号 (方)
	フリガナ 氏名	コウノ ハナコ 甲野花子 昭和 平成 〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)
未成年者	本籍(国籍)	都道府県
	住所	〒 - 相手方と同じ (方)
	フリガナ 氏名	コウノ シュン 甲野隼 平成 令和 〇年 〇月 〇日生 (〇〇歳)
※	本籍(国籍)	都道府県
	住所	〒 -
	フリガナ 氏名	昭和 平成 令和 年 月 日生 (歳)
※	本籍(国籍)	都道府県
	住所	〒 - (方)
	フリガナ 氏名	昭和 平成 令和 年 月 日生 (歳)

監護の分掌を求めたい未成年の子について記入してください。

この欄に記載しきれない当事者は、「当事者目録」を使用し、記載してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。  
※の部分は、申立人、相手方、未成年者等の区別を記載してください。

申 立 て の 趣 旨

未成年者の監護を分掌する者を、毎週日曜日の朝から水曜日の夕方までを申立人、それ以外の期間を相手方と定めるとの調停を求めます。

申 立 て の 理 由

1 申立人と相手方は平成〇年〇月〇日婚姻しましたが、令和〇年〇月〇日に未成年者の親権者を父母

双方と定めて協議離婚し、相手方と未成年者が申立人宅から車で5分程度の距離に転居しました。

2 申立人と相手方は、共働きで、婚姻中から協力して未成年者を監護してきました。

特に、週の前半は、相手方が仕事の都合で朝早く出社し夜遅く帰宅するため、申立人が在宅勤務

をして、未成年者の送迎、体調不良時の迎えや看護、食事の支度、入浴、寝かしつけ等を行って

いました。

3 離婚後も、相手方の仕事の都合に合わせて、申立人が未成年者の送迎をするほか、未成年者が

申立人宅に泊まって申立人宅から登園することもあり、相手方も申立人と協力して未成年者を監護

していくことは合意しています。

4 このような状況を踏まえ、申立人から、毎週日曜朝から水曜夕方までは未成年者を申立人が監護

するとの取り決めに提案したところ、相手方からは申立人が監護する期間が多すぎるとして断られ、

話し合いがつかないため、本件を申し立てました。

父母間で意見が異なっている点について記載  
してください。